



# 消防千葉

2012 No.511 平成24年4・5月号

---

平成24年5月1日 編集兼発行人  
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内  
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅  
TEL043(263)9885  
郵便番号 260-0801 (定価50円)  
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>  
メールアドレス [chisyokai@bz04.plala.or.jp](mailto:chisyokai@bz04.plala.or.jp)

---



「芝山古墳・はにわ博物館と飛行機」山武郡芝山町(山武支部)

## 公益財団法人 移行のご挨拶



千葉県消防は、先人のたゆまぬ努力により、消防力の強化が図られ、発展を遂げてまいりました。

当協会は、昭和22年12月の消防組織法の公布、自治体消防発足後の昭和23年6月に財団法人設立以来、会員の福祉厚生、消防活動の強化等地域の安心・安全を支える活動を行ってまいりました。

そして、平成24年3月26日付で千葉県知事の認定、4月1日の移行登記により「公益財団法人千葉県消防協会」として新たな発足の時を迎えました。

一方、未曾有の人的、物的被害をもたらした平成23年東日本大震災に象徴されるように近年の災害は、大規模化、複雑多様化、複合化しており、災害そのものは避けられなくとも、被害をできる限り抑える減災の備えは日頃から地域が一体となって推進する必要があり、その際、消防の果たす役割は、益々大きくなっています。

当協会としては、この度の新たな発足を契機として千葉県及び防災関係機関と密接に連携し、これまで以上に県民への防災や消防の重要性に関する啓発・普及活動を行うとともに、地域の安心安全の確保を目指し消防職・団員の消防防災知識、技術、活動能力の向上と士気高揚のための事業等を実施してまいります。

今後とも、県民の皆様、消防関係者の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



公益財団法人千葉県消防協会

会 長 石 橋 毅



## 平成23年度 千葉県消防協会第4回評議員会・第2回通常理事会開催

### 平成24年度事業計画・収支予算等を議決

平成24年3月27日(火)、平成23年度の千葉県消防協会第4回評議員会及び第2回通常理事会が千葉市内で開催されました。

なお、4月1日から公益財団法人に移行したことから財団法人千葉県消防協会としては最後の評議員会・理事会となりました。

午前11時から評議員会が開かれ、石橋 毅会長の挨拶の後、平成24年度事業計画・収支予算、公益財団法人の規則及び規程等の整備など5議案について審議が行われ、全議案について評議員会の同意を得、午後からの理事会で全議案とも原案どおり議決されました。

なお、議決された議案等並びに平成24年度千葉県消防協会事業計画、主要行事予定、平成24年度千葉県消防学校の教育訓練計画及び千葉県防災危機管理部の主要行事は次の通りです。

#### ◆ 議 案

議案第1号：平成23年度(財)千葉県消防協会収支補正予算(案)について

議案第2号：平成23年度(財)千葉県消防協会消防会館特別会計収支補正予算(案)について

議案第3号：平成24年度(公財)千葉県消防協会事業計画(案)について

議案第4号：平成24年度(公財)千葉県消防協会収支予算(案)について

議案第5号：公益財団法人千葉県消防協会の規則及び規程等の整備について



第4回評議員会

#### ◆ その他・報告事項

○平成24年度(公財)千葉県消防協会の主要行事予定について

○第23回全国消防操法大会について  
平成24年10月7日(日)  
東京臨海防災公園

○日本消防協会消防団員福祉共済事業について

○東日本大震災後の我が国消防のあり方に関する意見について



第2回通常理事会



## 平成24年度(公財)千葉県消防協会事業計画

### 事業実施方針

本県消防については、消防職・団員及び消防関係者のたゆまぬ努力により、自治体消防として発足以来今日に至るまで、年々充実が図られてきております。近年の消防を取り巻く環境は、予測し難い災害・事故の発生が例惧されるとともに、地震・集中豪雨等の自然災害が多数発生しており、尊い命や貴重な財産が失われています。

特に、昨年3月11日発生した東日本大震災では未曾有の被害をもたらし、そして我々に多くの教訓と課題を残しました。そして、消防職・団員の安全確保を図りながら消防の役割を果たすという大きな課題を背負うことになりました。

このようなことから、消防防災の中核を担う常備消防及び消防団においては、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化により、災害及び事故等の防止とともに安心・安全を確保し地域社会の健全な発展に資する必要があります。

このため消防協会としては、県民への防災や消防の重要性等に関する啓蒙啓発の推進とともに消防職・団員の消防防災能力の向上と士気高揚のための事業、福利厚生並びに弔慰救済等の事業を実施します。

### 重点事項

#### 1. 防災思想普及事業

予算額 43,491千円

災害等から生命、身体及び財産を守り被害を最小限に食い止めるため、各家庭・企業を問わず県民一人ひとりが常日頃から災害に対する関心と適切な活動(出火防止初期消火、応急救護等)を身につけられるよう知識と技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図る。

(1) 西部防災センターにおいては、記録映画等の上映、風・大雨・地震・避難・消火器使用の体験、子ども向け防災読本の配布、消防・防災フェスティバル等を行う。

また、中央防災センターでは、起震車・図書・ビデオの貸出し等を行う。

(2) 機関誌「消防千葉」を発行し消防活動への理解を図る。

(3) 千葉県と協力して春秋2回の全国火災予防運動及び九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練を実施する。

(4) 火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人

防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。

#### 2. 教養訓練事業

予算額 7,214千円

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員による基礎的・専門的な知識・技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表並びに消防関係機関の協力・連携等を図る。

(1) 消防団幹部の養成のため、消防団員指導員研修を実施するとともに日本消防協会主催の各種研修会へ参加を促進する。

また千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校並びに日本消防協会への修学奨励のため、所定の課程を終了又は卒業した者に対し修学奨励金等を贈与する。

(2) 消防操法技術の一層の向上のため、10支部の消防操法大会(支部事業)で最優秀となった各支部代表チームによる千葉県消防操法大会を県と共に開催する。

また、日本消防協会主催の全国消防操法大会に出場する千葉県代表チームに助成する。

(3) 消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため、会議の開催等をする。

ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催

イ. 支部常務理事・事務主任者会議の開催

ウ. 日本消防協会・関東甲信地区消防協会等の各種会議への参加

#### 3. 弔慰救済事業

予算額 1,800千円

(1) 職務遂行において死亡・障害者となりたる者などに対し、その崇高な活動に報いるため弔慰見舞金等を贈る。

(2) 郷土防災の使命を果たしその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、消防殉職者慰霊祭を実施する。

#### 4. 報償事業

予算額 3,750千円

(1) 消防士気の高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し、特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を千葉県消防大会、消防出初式において行う。

(2) 退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功労に報いるため感謝状及び金盃を贈る。



## 5. 支部活動事業

予算額 20,520千円

- (1) 消防知識の一層の普及、消火技術の向上のために地域活動として支部消防操法大会を各地区で実施して県消防操法大会への出場チームを選抜する。
- (2) 消防活動への表彰と、士気高揚のために消防出初式等において優秀な団員に対して支部長表彰をおこなう。
- (3) 地域での研修や春・秋の火災予防運動において消防防災知識の普及を図る。

## 6. 福祉共済制度への加入促進等

予算額 1,800千円

- (1) 消防職・団員の公務以外の災害や疾病に対する保障を兼ねた相互扶助の増進等のため、日本消防協会が実施している福祉共済及び互助年金等及び全日本消防人共済会が実施している火災共済制度への加入を促進する。
- (2) 消防団員の健康管理等に資するため、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

## 7. 千葉県消防会館建設改良

予算額 1,500千円

千葉県消防会館は、建設以来38年を経過しているため、計画的に修繕を実施する。

## 平成24年度 公益財団法人千葉県消防協会主要行事予定

	行 事 名	時 期	場 所
1	支部常務理事・事務主任者会議	4月12日(木)13:30	プラザ菜の花
2	少年婦人防火委員会監査	5月15日(火)	消防協会会議室
3	消防協会監事会	5月21日(月)13時	消防協会会議室
4	少年婦人防火委員会役員会	5月28日(月)11時	プラザ菜の花
5	臨時評議員会 定時理事会・定時評議員会	5月30日(水)11時・13時半・15時半	ホテルポートプラザちば
6	顧問会	6月	千葉市内
7	第48回消防長・団長会議	7月12日(木)～13日(金)	鴨川ホテル三日月
8	第48回千葉県消防操法大会	7月28日(土)【予備 8月4日】	千葉県消防学校
9	第33回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練	9月 1日(土)～2日(日)	江戸川河川敷緑地
10	第31回全国消防殉職者慰霊祭	9月13日(木)	ニッショーホール
11	都道府県婦人(女性)防火クラブ 連絡協議会幹部地域研修会	9月25日(火)～26日(水)	千葉市内
12	第23回全国消防操法大会	10月7日(日)	東京都
13	第48回消防殉職者慰霊祭	10月25日(木)	慰霊碑前
14	消防職・団員定例表彰審査会	10月25日(木)	消防協会会議室
15	第18回全国女性消防団員活性化秋田大会	11月16日(金)	秋田県
16	消防団員指導員研修	11月17日(土)～18日(日)	千葉県消防学校
17	理事会	12月	千葉市内
18	婦人防火研修会	25年1月	千葉県消防学校
19	顧問会	25年1月	千葉市内
20	第65回日本消防協会定例表彰式	25年2月26日(火)	ニッショーホール
21	第63回千葉県消防大会	25年2月27日(水)	青葉の森芸術文化ホール
22	評議員会、定時理事会	25年3月	千葉市内



# 平成24年度 教育訓練実施計画

## 千葉県消防学校

### 1 平成24年度 教育訓練基本方針

消防防災行政を取り巻く状況は、近年大きく変化しており、国内外において頻繁に発生している地震や、国内各地に甚大な被害をもたらした局地的な集中豪雨等の大規模な自然災害の続発、また新たな都市型火災の発生等、消防が対応すべき事象はますます大規模化、複雑化、多様化しており、常備消防・消防団等の体制充実が一層強く求められている。

こうした状況を背景に、住民の生命・身体及び財産を守るという消防の責務はますます重要性を増し、同時に、住民の消防に対する関心や期待も一層高まってきている。

このような消防行政への社会的要請を受けて、従来に増して教育訓練の充実強化を図ることとした。前年度に引き続き、中級幹部科と救助科合同による実戦的模擬訓練を実施し、指揮隊運用と機動性の向上を図る。火災調査科においては、千葉市消防学校と合同教育訓練を実施し、効果・効率化を図ることとした。

また、消防団員教育においては、引き続き土・日曜日に開講し、入校促進に務めるなど、消防職団員の知識・技術の更なる向上を図る。

なお、消防職員教育においては前年度に引き続き「全寮制」、「通学」及び「通学・入寮」の3種類の研修形態で実施する。

### 2 教育訓練の目的

消防職員及び消防団員に対し消防の責務を正しく認識させるとともに、人格の陶冶、知識・技術の習得、体力の錬成、規律の保持、協働精神の醸成を図り、能率的に職務を遂行し得るよう教育訓練を実施する。

### 3 平成24年度 教育訓練実施計画

教育課程		期 名	期 間	教育対象者	実施期間	
消防職員	初任教育	初任科	第154期	115日	新規採用者等	24年4月3日～9月14日
			第155期	115日		24年10月1日～25年3月22日
	専科教育	特殊災害科	第8期	8日	特殊災害に従事しようとする者	24年11月5日～11月14日
		予防査察科	第7期	11日	予防査察に従事しようとする者	24年8月21日～9月4日
		危険物科	第14期	6日	予防危険物に従事しようとする者	24年12月4日～12月11日
		火災調査科	第17期	11日	火災調査に従事しようとする者	25年3月8日～3月25日
		救急科	第32期	41日	救急業務に従事しようとする者	24年5月16日～7月11日
			第33期	41日	同上	25年1月7日～3月6日
	救助科	第41期	22日	救助業務に従事しようとする者	24年9月25日～10月25日	
	幹部教育	中級幹部科	第29期	8日	消防司令及び組織の管理を職務とする消防司令補	24年10月15日～10月24日
特別教育	訓練指導科	第38期	10日	訓練指導に従事する消防士長以上の者	24年4月9日～4月20日	
	はしご自動車等講習会	第23回	3日	はしご自動車等の隊長及び機関員又は予定者	24年5月8日～5月10日	
	気管挿管・薬剤投与講習	第7回	36日	救命救急士の資格を有する者	24年10月29日～12月18日	
消防団員	特別教育	訓練指導科	第31期	2日	分団長以上の階級にある者	24年5月19日～5月20日
		女性消防団員科	第8期	2日	女性消防団員	24年5月26日～5月27日
		一日入校		1日	消防団員	随時(別途調整)
		現地教育		現地	同上	随時(別途調整)



## 千葉県防災危機管理部の主要年間行事予定

### (1) 第48回千葉県消防操法大会

日 時:平成24年7月28日(土)[予備日8月4日(土)]

場 所:千葉県消防学校(千葉市中央区仁戸名町)

主 催:千葉県、(公財)千葉県消防協会

### (2) 石油コンビナート等防災訓練(総合訓練)

日 時:平成24年9月12日(水)

場 所:新日本製鐵(株)君津製鐵所(君津市)

### (3) 九都県市合同防災訓練(千葉県会場訓練)

日 時:平成24年9月1日(土)・2日(日)

場 所:市川市江戸川河川敷

### (4) 第63回千葉県消防大会

日 時:平成25年2月27日(水)

場 所:青葉の森公園芸術文化ホール



## 第64回 日本消防協会定例表彰式

平成24年2月23日(木)、「第64回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団123団、功績章926名、精績章2,214名、勤続章7,398名、優良婦人消防隊16隊、優良婦人消防隊員21名、消防協会等役職員永年勤続者5名の表彰が行われました。

本県では、功績章32名、精績章78名、勤続章307名がそれぞれ受章しました。





# 勲芳千歳

## 平成23年度千葉県消防関係 定例表彰授与式の開催

平成24年3月21日(水)、千葉市中央区の千葉県消防学校屋内訓練場において平成23年度千葉県消防関係定例表彰授与式が行われました。

この大会は、消防職員・団員の日頃からの献身的な活動や功績を称え、士気の高揚を図るため、千葉県、財団法人千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により行われたものです。



当日は開式のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、森田千葉県知事(代理石渡副知事)、石橋消防協会長、倉田協会最高名誉顧問の挨拶がありました。消防庁長官や日本消防協会長等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と感謝状の贈呈が行われ、東日本大震災の際に活躍された13消防団と19消防団員には千葉県消防協会長特別表彰が授与されました。



それぞれ受章された方、またご家族の方、誠にありがとうございました。

### 平成23年度 千葉県消防関係定例表彰授与式受章者等一覧

表彰種別	表彰者数
消防庁長官定例表彰	表彰旗1機関、功労章10名・永年勤続功労章93名
千葉県知事表彰	特別功労章15名、永年勤続功労章60名、内助功労48名、千葉県石油コンビナート等防災関係表彰2機関
日本消防協会長表彰	功績章32名、精績章78名、勤続章307名
千葉県消防協会長表彰	特別功労章8名、内助功労2名、永年勤続功労章217名、内助功労177名、功績章36名、特別表彰団体13、個人19、表彰状6名、特別表彰1機関、感謝状3名
千葉県少年婦人防火委員会長表彰	優良幼年消防クラブ表彰1クラブ、優良少年消防クラブ表彰1クラブ、優良婦人消防クラブ表彰1クラブ





# 消防職員初任科第153期生卒業 千葉県消防学校

平成24年3月23日(金)、千葉県消防学校の消防職員初任科第153期の卒業式が行われました。

10月の入学から6ヶ月、24所属101名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、開式のことば、国歌斉唱の後、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀賞1名、優秀賞10名、努力賞5名の表彰が行われ、今関千葉県消防学校長の告辞、森田千葉県知事(代理岩館防災危機管理監)、千葉県消防協会長の祝辞等がありました。



また、前日の22日(木)には、教育訓練の成果を確認するために消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われ、入場行進、通常点検、小隊訓練、救助基本訓練、機器取扱・救助応用訓練、最後には総合訓練として震災対応救助処置火災防御訓練の実施により、研修で習得した火災防御・救急救助技術を披露しました。





# 東 西 南 北

## NBC災害対応訓練の実施

### 流山市消防本部

流山市消防本部では平成24年2月3日・6日 T X 流山セントラルパーク 駅前においてNBC災害対応訓練を実施した。

訓練は、工場内で化学反応の爆発事故が発生し、建物内に2名の要救助者が倒れ、周辺には異臭がするという想定でおこない、66名の職員が参加した。

消防隊が到着後ただちに指揮本部の設置、情報収集、現場広報、警戒筒先各ゾーンの設定、除染テントの設置後、要救助者の救出に向かい、検知器に反応があった場所をホットゾーンとして、建物内から要救助者の救出後、除染、化学剤の密閉及び化学剤の特定を行ったものである。

4署合同で行うことにより、各署・各隊の連携が強化され、訓練終了後には訓練結果をフィードバックし改善点など十分に検討を行い、充実した訓練となった。



## 都市型搜索救助(USAR)技術訓練を実施

### 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成24年2月16日、大型商業施設「三井ショッピングパークららぽーとTOKYO-BAY」の協力を得て、同施設内の建て替えによる解体前の「西館」を利用して、千葉県警機動隊及び、当市と消防相互応援協定を締結している市川市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、印西地区消防組合の消防局・消防本部の救助隊員125人が参加し、都市型搜索救助(USAR)訓練を実施しました。この訓練は、倒壊した鉄筋コンクリート構造の建築物における救助活動において、INSARAG(国連の国際搜索救助諮問グループ)ガイドラインに定められた搜索・救助活動の要領を習得するとともに、長時間の活動に必要な隊員管理、意見調整及び情報共有等の支援活動を含めた訓練の検証を図ることを目的に行われました。

当市消防局のIEC(国連の救助能力評価認定)、最上級の「Heavy」を取得した国際消防救助隊登録隊員の指導のもと、「ブリーチング」と呼ばれる技術を用いて、削岩機やハンマードリル、エンジンカッター等を使用したコンクリート破壊技術訓練を実施しました。





## 警防活動合同訓練を実施

### 船橋市消防局

船橋市消防局(山崎喜一消防局長)では、平成24年2月17日、大型商業施設「三井ショッピングパークららぽーとTOKYO-BAY」と共催し、同施設内の建て替えによる解体前の「西館」を利用して、特殊建物火災への対応能力を強化するため、千葉県船橋警察署、船橋市立医療センター及び消防相互応援協定を結ぶ5市(市川市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、印西地区消防組合)の消防局・消防本部9機関、出場部隊31台、参加人員330人の訓練規模にて「警防活動合同訓練」を実施しました。この訓練は、「ららぽーとTOKYO-BAY西館」1階において、火災が発生し、買い物客ら来場者は煙に巻かれパニックとなり、各店舗職員などの避難誘導を聞かずに出口やエスカレータへ殺到したため将棋倒しが発生するなど、傷病者が多数発生したという想定のもと、事前にシナリオを明かさないうブラインド型訓練として行われました。

今回の訓練では、「ららぽーとTOKYO-BAY」の職員100人が実際の要救助者となり、各参加機関が連携して検索救助にあたり、エアートント内で、当市立医療センターDMATの医師や当市消防局のドクターカーの医師等が各救急隊と連携してトリアージや救命救急処置、多数傷病者搬送訓練も含め、救急連鎖を実戦的に行いました。



(屋上の要救助者を救出するはしご車部隊)

## JICA消防行政改善のための指導者研修

### 千葉市消防局



千葉市消防局では、アルメニア共和国「非常事態省・アルメニア救助庁」の次官を含む幹部5名の研修員を受け入れました。

アルメニア共和国は、近年、都市化や大規模な土地開発が進んでおり、将来、より複雑な火災関連の災害が発生すると懸念されており、この課題を解決するため、消防技術を強化する必要性に迫られています。

そこで、火災及び災害管理の分野での日本の先進的な技術をアルメニア救助庁に導入し、消防技術を強化することを目的に、JICA(独立行政法人国際協力機構)へ研修の要請があり、2年目となる今年度は「教育訓練体制の構築」と「中隊長レベルの指揮運用の改善」について、当局で研修を実施しました。研修は、平成24年2月18日から3月2日の間実施され、当局の他にも消防大学校や気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部等を視察しました。



## 野営対応訓練実施 流山市消防本部



流山市消防本部では、平成24年2月22日水曜日に野営対応訓練を実施しました。

訓練は、平成23年3月11日発生した東日本大震災で緊急援助隊として現地で災害活動に従事した職員を中心に、現地で肌で実感した事や寒さ対策などの貴重な体験を後輩職員に伝えるために行ないました。訓練は、出動指令後ただちに出動準備に取り掛かり、必要な資器材を積み込みや出動体制を整え署長の訓示を得た後に出動しました。

現地到着後、暗闇の中でのテントの設置や野営するための仮眠ベッドの設置など迅速に行ったものです。

冬期のこの時期に行なう事により、職員が冬の寒さや寝袋など用具に慣れ災害対応力の強化を行い、現地の体験についてフィードバックを行うなど充実した訓練となりました。



## 消防広域応援対応訓練の実施 千葉市消防局

千葉市緑消防署では、東日本大震災から1年を迎えようとする3月1日から3日までの3日間「消防広域応援対応訓練」を実施しました。

この訓練は、緊急消防援助隊として、被災地での自己完結型災害活動と過酷な状況下において、継続的活動に対応すべく部隊能力の向上を目的として実施されました。

緊急消防援助隊としての野営訓練は、これまでも少数部隊で実施されてきましたが、今回の訓練では、特別高度救助隊をはじめとする緊急消防援助隊指定部隊を中心に、複数の特別救助隊を投入させるほか、指定部隊以外の消火部隊や救急部隊も参加し、狭所及び閉鎖空間での長時間に渡る都市型地震災害対応訓練や土砂災害対応訓練と併せ、自炊等、自己完結型訓練を長時間にわたり実施しました。

また、道路の寸断等を想定し、約10キロメートル離れた訓練場まで、徒歩移動集結訓練も行いました。今後も、災害派遣での経験から得た教訓や訓練での検討事項等を考察し、あらゆる災害に対応できる強靱な部隊の育成に努めてまいります。





## 住宅用火災警報器設置の普及促進活動を実施!

### 市川市消防局



市川市消防局(角来秀一局長)では、春季火災予防運動実施中の3月2日(金)に住宅用火災警報器設置の普及促進活動として、街頭広報を実施しました。職員がJR本八幡駅を利用されている方に広報用リーフレット及びポケットティッシュを約1,000部配布し、多くの市民に設置を呼びかけました。

## 大型店舗消防総合訓練を実施

### 市川市消防局

市川市西消防署(郡司高夫署長)では、3月4日(日)にヤオコー市川中国分店において大型店舗消防総合訓練を実施しました。

この訓練は春季火災予防運動の一環として行ったもので、大型店舗自衛消防隊と消防職・団員による合同訓練を行うことで、防火体制及び消防体制の万全を期すとともに、市民の防火意識の普及または高揚を図ることを目的としています。早朝からの訓練でしたが、多くの店舗従業員の方が参加し、実災害に備え真剣に取り組んでいました。



## 婦人消防クラブによる「消防フェア」での広報活動

### 千葉市消防局

婦人消防クラブの活動として、住宅用火災警報器の更なる普及推進や火災予防について、買い物客など多くの市民に春の火災予防運動行事の一環として、平成24年2月25日から3月4日まで各消防署で開催された「消防フェア」会場において普及啓発広報活動を実施しました。

会場の屋外では消防車、はしご車の展示、水消火器による消火や煙体験コーナー、消防音楽隊のコンサート、屋内では住宅用火災警報器をはじめとする住宅用防災機器や救急手当の実技指導なども実施し、買い物途中の家族が足を止め、熱心にスタッフの話聞く姿が目立ちました。

今後もあらゆる機会を捉え、消防と地域が一体となった広報活動を展開していきたいと考えています。



中央消防署:消防フェア



## 消防団員福祉共済制度の変更のお知らせ

(財)日本消防協会では、消防団員福祉共済制度の規約を改正して東日本大震災の発生により変更していた弔慰金・重度障害見舞金等の額や掛金を本則通りに戻すこととしました。

- |                                     | 改正前           |   | 改正後(本則どおり)    |
|-------------------------------------|---------------|---|---------------|
| 1 弔慰金・重度障害見舞金                       | 1,100万円       | ⇒ | 2,300万円       |
| 弔慰救済金                               | 支給しない         |   | 500万円～1,000万円 |
| (平成24年2月23日以降に事由の発生した弔慰金等について適用する。) |               |   |               |
| 2 掛金の特例(本則3,000円⇒特例4,000円)          | は平成24年度限りとする。 |   |               |

### 日々の動き

防災危機管理部  
消防協会 共同編集

平成24年4月

- |    |                    |        |
|----|--------------------|--------|
| 3  | 千葉県消防学校初任科第154期入校式 | (消防学校) |
| 12 | 支部常務理事・事務主任者会議     | (千葉市)  |
| 13 | 千葉県消防長会春季総会        | (千葉市)  |
|    | 5月                 |        |
| 17 | 関東甲信地区消防協会長会議      | (東京都)  |
| 21 | 千葉県消防協会監事会         | (千葉市)  |
| 22 | 日本消防協会代議員会         | (東京都)  |
| 24 | 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会 | (千葉市)  |
| 28 | 千葉県少年婦人防火委員会役員会    | (千葉市)  |
| 30 | 消防協会評議員会・理事会       | (千葉市)  |

平成24年春の全国交通安全運動 4月6日(金)から4月15日(日)  
スローガン ～いそいでも かならずかくにん みぎひだり～

平成24年度全国統一防火標語  
「消すまでは 出ない行かない 離れない」

〈表紙の説明〉

「芝山古墳・はにわ博物館と飛行機」山武郡芝山町

成田国際空港の南側に位置し、観光施設や歴史的遺産が多い芝山町。

「芝山古墳・はにわ博物館」には芝山町や千葉県内から出土した「はにわや古墳時代の考古遺物」が展示されています。その他、復元された古墳時代の住居や当時の衣装での写真撮影などによって古代をかいま見ることができます。また、博物館で歴史や文化に触れた後には、隣接した芝山公園の四季折々の自然も楽しむことができます。

